

第 1 学 年 算 数 科

教科目標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かに育てます。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かに育てます。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
4	もりにいこう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て集合作りをする。 ・2つの集合の多さを1対1の対応で比べる。 ・操作によって、10までの数の大小や順序を判断する。 ・10までの数の意味と数え方を知る。 ・10までの数を正しく書いたり読んだりする。 ・10の合成・分解をブロックを使って確かめる。 ・ゲームをして10までの数の構成を知る。 ・方向や位置に関する言葉と数を用いて、物の位置を表す方法を考える。 ・個数や順序を数えたり表したりする。 ・生活の中から加法の場面を考え、問題作りをする。 ・和が10以下の加法の計算をする。 ・加法のいろいろな場面を絵本で表現する。 ・生活の中から減法の場面を考え、問題作りをする。 ・10以下の数について減法の計算をする。 ・減法の場面を文と絵から読みとり、式に表して答えを求める。 ・減法のいろいろな場面を絵本で表現する。 ・復習をする。 ・集めた空き箱などを形に注目して同じ形の仲間集めをする。 ・平面図形の特徴や性質を調べる。 ・10より大きい物の数え方、数の書き方を知る。
5	10までのかず	10	
	いくつといくつ	4	
	なんばんめ	2	
6	たしざん(1)	10	
7	ひきざん(1)	11	
	おさらい	3	
9	かたち	4	
	10より大きいかず	9	
10	かずをさがそう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・10より大きく60未満の物の数を数えたり、数字を使って表したりする。 ・学校にあるいろいろな数をさがす。 ・1位数と一位数の加法で10のまとまりの考えを用いて繰り上がりのある計算の仕方を考える。 ・具体物を用いて繰り下がりのある減法の計算の仕方を考える。 ・(十何) - (一位数)の減法の計算をする。 ・(十何) - (一位数)の減法で繰り下がりのある計算の意味を知り、減法の計算をする。 ・加法、減法の文章題を読んで、どちらを用いればよいかを考え計算をする。 ・加法と減法の計算を楽しんでする。 ・具体物からいろいろな長さを取り出し、2つの長さを直接比較・間接比較によって比べる。 ・100までの数を正しく数え、読んだり書いたりする。 ・100までの数の大小・順序・系列を知る。 ・1年の学習のまとめをする。 ・数カードを使って、加法の練習をする。 ・数カードを使って、減法の練習をする。
11	たしざん	12	
	ひきざん	12	
12	たすのかなひくのかな	2	
	おさらい	4	
1	ながさくらべ	5	
2	おおきなかず	11	
3	1ねんのまとめ	7	
	ぴったり10にしよう	2	
	ぴったり0にしよう	2	
授 業 時 数 の 合 計			114時間

算数科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習中の様子 ・プリント ・テスト ・ノート など 総合的に評価します。
数学的な考え方	・算数的活動を通して、数理的な処理に親しむという観点から見ます。	
数量や図形についての表現・処理	・整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりしているかどうかという観点から見ます。	
数量や図形についての知識・理解	・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねているかどうかという観点から見ます。	

